

2021年度

第4四半期決算

期間：2021年7月1日～9月30日

2021年11月11日ドイツ・ミュンヘン

優れた業績を上げ、テクノロジーに特化した企業として順調なスタート

「私たちは、テクノロジーに特化した企業として、非常に順調なスタートを切りました。厳しい環境の中、市場シェアを獲得し、純利益のガイダンスを明確に上回りました。この勢いは2022年度も続くでしょう。当社は、お客様をサポートし、デジタル化とサステナビリティという大きな成長要因から利益を得るための理想的な立ち位置にあります。私たちには正しい戦略があり、何よりも、最高のチームがいます。個人的に、世界中のチームの素晴らしい貢献に大変感謝しています」 --シーメンスAG 社長兼CEO ローランド・ブッシュ

「記録的なフリーキャッシュフロー、堅調な売上成長、そして高い収益性を同時に達成し、シーメンスのパフォーマンス能力と強靭性を改めて証明しました。株主の皆様にも、この好調な業績が還元されています。非常に魅力的な配当金、堅調な株価成長、そして新たな自社株買いプログラムにより、当社は引き続き魅力あふれる総株主利益を提供してまいります」 --シーメンスAG最高財務責任者 ラルフ・P・トーマス

- ・ 受注は、すべてのインダストリービジネスの2桁成長により、26%増の191億ユーロ、売上は、18%増の174億ユーロとなった。出荷受注比率は、1.09。
 - ・ 為替変動および主にバリアン・メディカル・システムの買収によるポートフォリオ効果の影響を除いた前年同期比の受注は16%増、売上は10%増。
 - ・ インダストリービジネスの利益（Adjusted EBITA）は23億ユーロ、インダストリービジネスの利益率（Adjusted EBITA）は13.8%。
 - ・ 純利益は13億ユーロ、基本的1株当たり利益（Basic EPS）は1.45ユーロ。前年同期の純利益19億ユーロには、主にシーメンス・エナジー株式会社のスピンオフに起因する8億ユーロの非継続事業からの利益が含まれる。
 - ・ 継続事業および非継続事業からのフリーキャッシュフローは目覚ましく、当四半期は38億ユーロを計上した。
-
- ・ 2021年度通期の受注は714億ユーロ、売上は623億ユーロで、出荷受注比率は1.15。売上は前年同期比で11.5%の大幅な伸びを示し、第3四半期後に直近で発表したガイダンスを達成した。また、純利益は67億ユーロとなり、予想を大きく上回った。通年のフリーキャッシュフローは、過去最高の82億ユーロに達した。
 - ・ シーメンスは、2021年度の優れた業績と、将来の成長に対する大きな自信を反映し、1株当たりの配当金を前年の3.50ユーロから4.00ユーロに引き上げることを提案。

SIEMENS

Siemens

(単位：100万ユーロ)	第4四半期		増減	
	2021年度	2020年度	実績	比較
受注	19,070	15,100	26%	16%
売上	17,444	14,816	18%	10%
利益 (Adjusted EBITA) インダストリービジネス	2,273	2,644	(14)%	
内：退職手当	(55)	(116)		
利益率 (Adjusted EBITA) インダストリービジネス	13.8%	18.7%		
退職手当を除く	14.2%	19.6%		
継続事業からの利益	1,269	1,039	22%	
内：退職手当	(86)	(152)		
非継続事業からの利益 (税控除後)	60	840	(93)%	
純利益	1,330	1,879	(29)%	
基本1株あたり利益 (単位：ユーロ)	1.45	2.20	(34)%	
フリーキャッシュフロー (継続事業)	3,862	3,750	3%	
フリーキャッシュフロー (非継続事業)	(85)	13	n/a	
フリーキャッシュフロー (継続事業と非継続事業)	3,776	3,762	0%	
ROCE (継続事業と非継続事業)	8.9%	14.6%		

- 新型コロナウイルスパンデミック (COVID-19) の影響を受けた複雑なマクロ経済環境が続いたにもかかわらず、シーメンスの主な市場の多くで成長機会が拡大。主に電子部品と原材料にかかわるサプライチェーンのリスクが継続しているが、当四半期は影響が緩和された。
- デジタルインダストリーズおよびモビリティを中心に、すべてのインダストリービジネスと事業地域で、非常に好調な受注が継続して増加。
- デジタルインダストリーズとSiemens Healthineersの2桁成長により、すべてのインダストリービジネスとすべての事業地域で売上が増加。
- 為替変動の影響で、受注と売上にそれぞれ1%ポイントの加算をもたらした。ポートフォリオ効果の影響は、主に2021年度第3四半期のバリアン・メディカル・システムズ (バリアン) の取得に関連するもので、受注に9ポイント、売上に7ポイントの加算をもたらした。
- インダストリービジネスの利益 (Adjusted EBITA) には、Siemens Healthineersの大幅な増収や、デジタルインダストリーズとスマートインフラストラクチャーの優れた業績など、全事業による大きな貢献が含まれる。前年のデジタルインダストリーズの利益 (Adjusted EBITA) には、ベントレー・システムズ (ベントレー) への出資に関連した5億ユーロのプラス効果があり、スマートインフラストラクチャーは、事業売却による2億ユーロの利益を計上した。
- インダストリービジネス以外の業績では、コーポレート項目のソフトウェア・ホールディング (ソフトウェア) の株式の再評価により、3億ユーロの利益を計上。一方、2020年度第4四半期の業績は、ポートフォリオカンパニー内の株式投資による5億ユーロの損失の影響を受けた。
- 純利益：非継続事業からの利益は、シーメンス・エナジー株式会社のスピノフによる利益が含まれた2020年第4四半期と比較して大幅に減少。
- 第1～第3四半期の優れた業績に続き、インダストリービジネスのフリーキャッシュフローは前年同期の31億ユーロから38億ユーロへと大幅に増加し、キャッシュコンバージョンレートは1.68となった。プロジェクトのマイルストーンや顧客からの前払い金が増加したモビリティが向上を牽引したが、インダストリービジネスの向上は、税金の支払いの増加などインダストリービジネス以外のキャッシュアウトフローの増加により相殺された。
- 2021年9月30日現在の年金引当金および類似債務は28億ユーロ (2021年6月30日時点では29億ユーロ)。
- ROCEは、純利益の減少と、主にバリアンの買収に関連した平均使用資本の大幅な増加との組み合わせにより低下した。